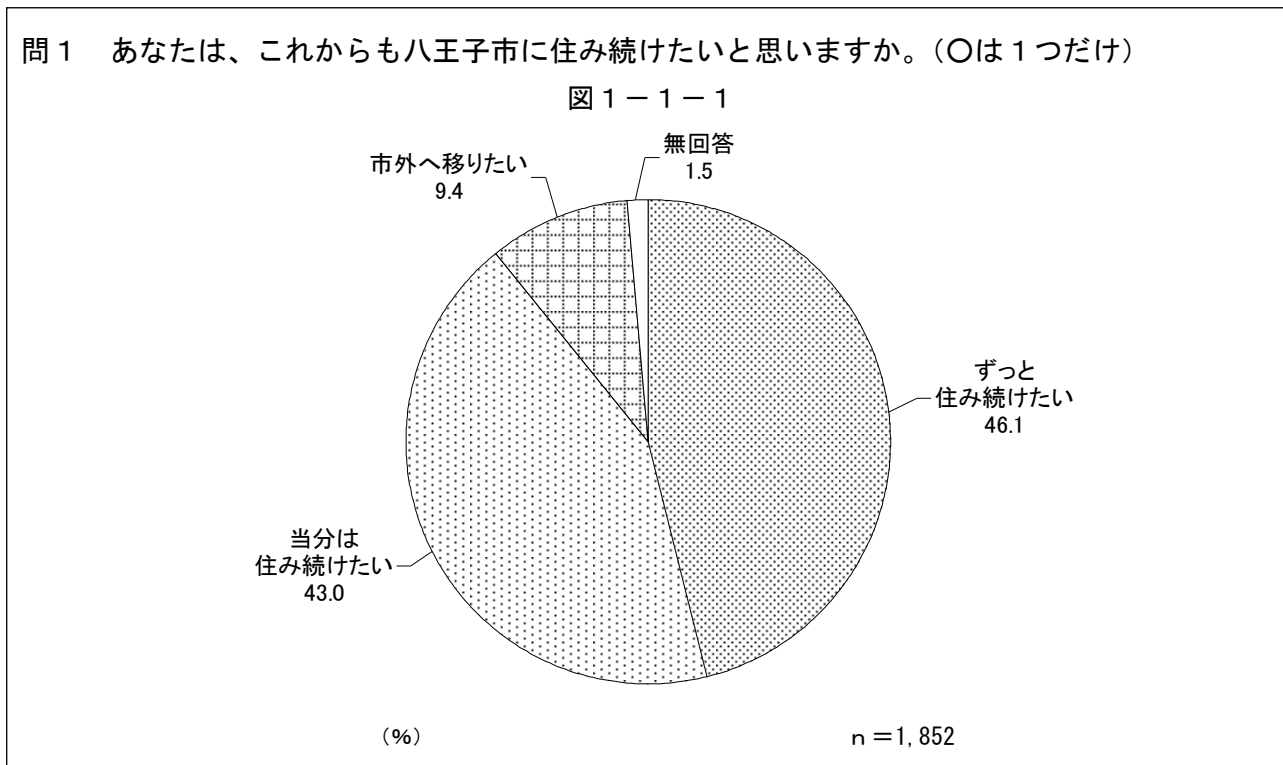


Ⅱ 調査結果の分析

1. 定住意向

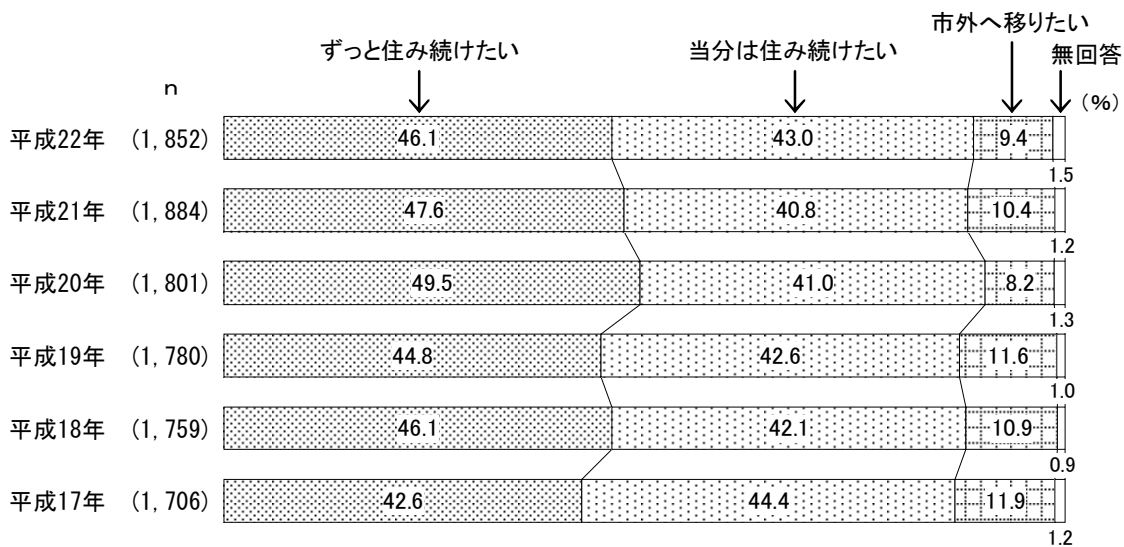
1-1 定住意向

◇『住み続けたい』が9割弱を占め、「市外へ移りたい」が1割弱



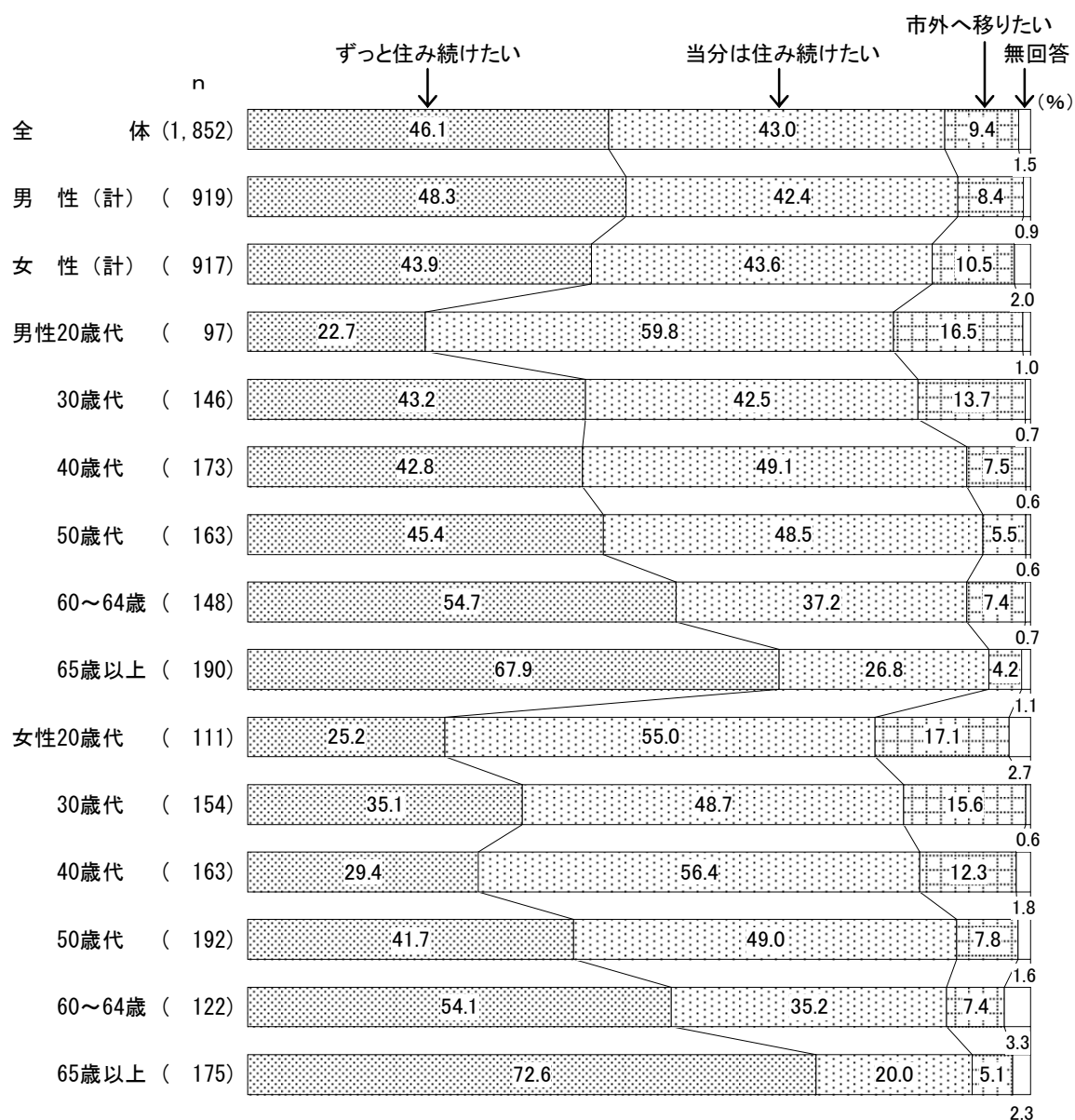
市への定住意向は、「ずっと住み続けたい」が5割弱（46.1%）と最も高く、「当分は住み続けたい」（43.0%）と合わせた『住み続けたい』は9割弱（89.1%）を占める。また、「市外へ移りたい」は1割弱（9.4%）にとどまっている。（図1-1-1）

図1-1-2 定住意向一経年比較



過去の調査と比較すると、『住み続けたい』は引き続き9割前後の割合を占めており、大きな変化はみられない。（図1-1-2）

図 1-1-3 定住意向一性・年齢別

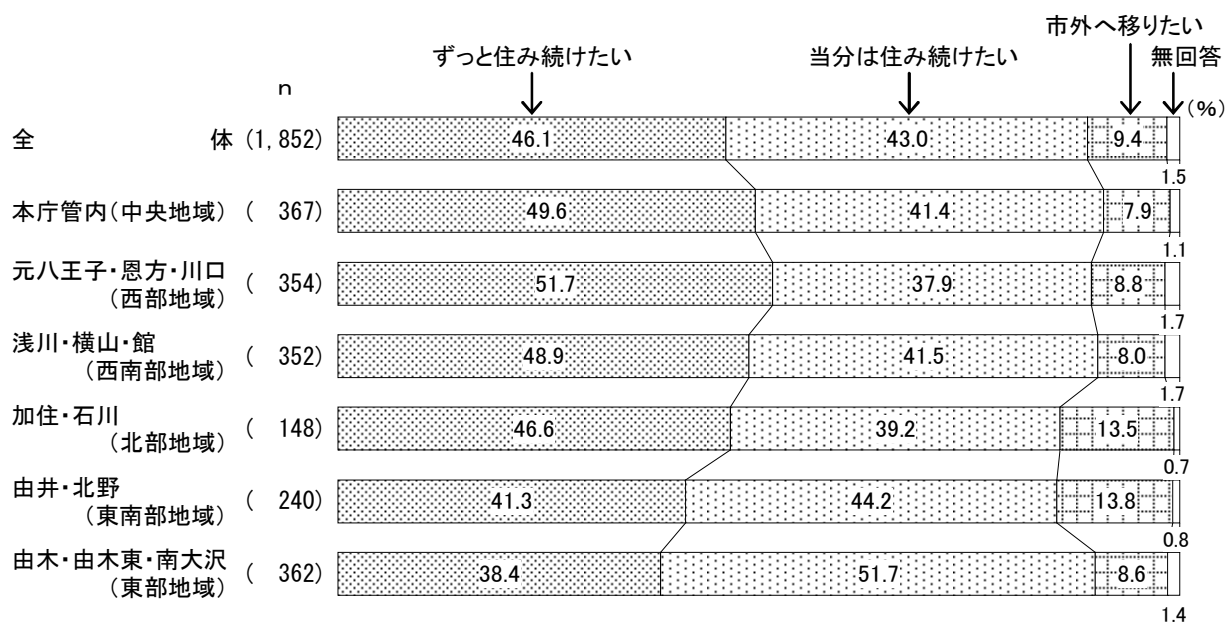


性別にみると、「ずっと住みたい」は男性の方が4.4ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「ずっと住みたい」は男性65歳以上（67.9%）と女性65歳以上（72.6%）では7割前後、男性60~64歳（54.7%）と女性60~64歳（54.1%）では5割台半ばと高くなっている。また、「市外へ移り住みたい」は男女とも20歳代で2割弱と他の年代に比べて高くなっている。

(図 1-1-3)

図 1 - 1 - 4 定住意向－居住地域別



居住地域別にみると、『住みたい』はすべての地域で8割以上を占め高くなっている。また、「ずっと住みたい」は元八王子・恩方・川口（西部地域）が5割強と高くなっている。一方、由木・由木東・南大沢（東部地域）は「ずっと住みたい」が4割弱（38.4%）と他の地域が4割を超えているのに比べ低くなっている。（図1-1-4）

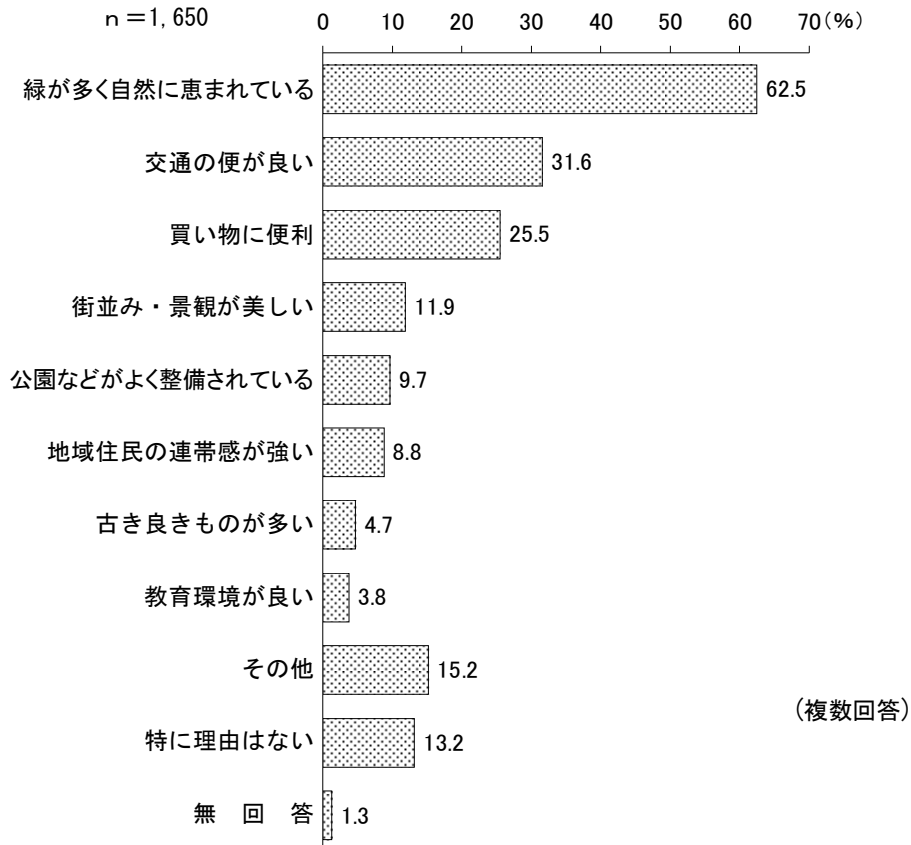
1-2 住み続けたい理由

◇「緑が多く自然に恵まれている」が6割強と突出

(問1で「ずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」とお答えの方に)

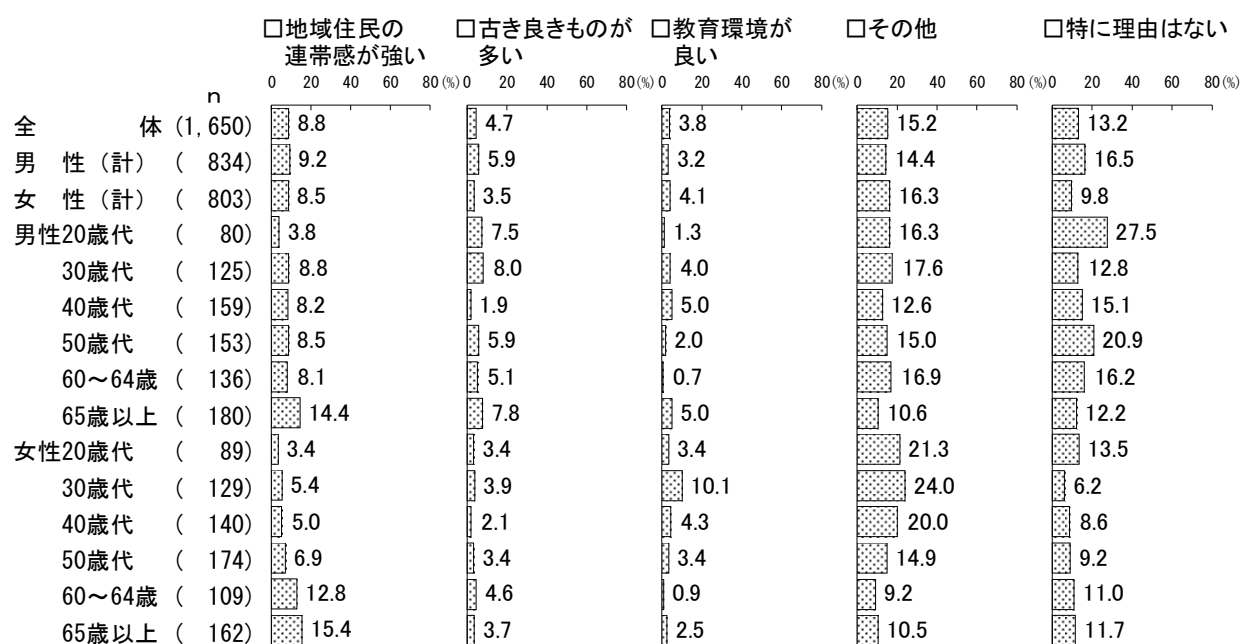
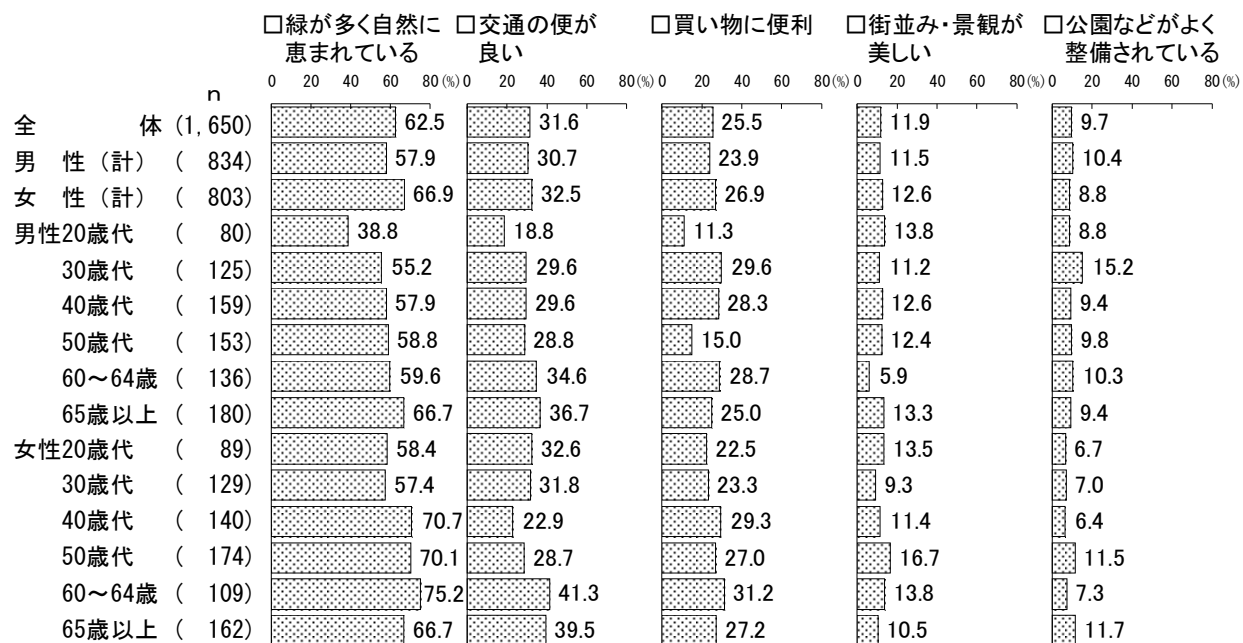
問1-1 住み続けたい主な理由は何ですか。(○は3つまで)

図1-2-1



八王子市への定住意向で「ずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」と答えた人(1,650人)に、住み続けたい理由について聞いたところ、「緑が多く自然に恵まれている」が6割強(62.5%)と最も高く、ついで「交通の便が良い」(31.6%)、「買い物に便利」(25.5%)、「街並み・景観が美しい」(11.9%)、「公園などがよく整備されている」(9.7%)と続いている。(図1-2-1)

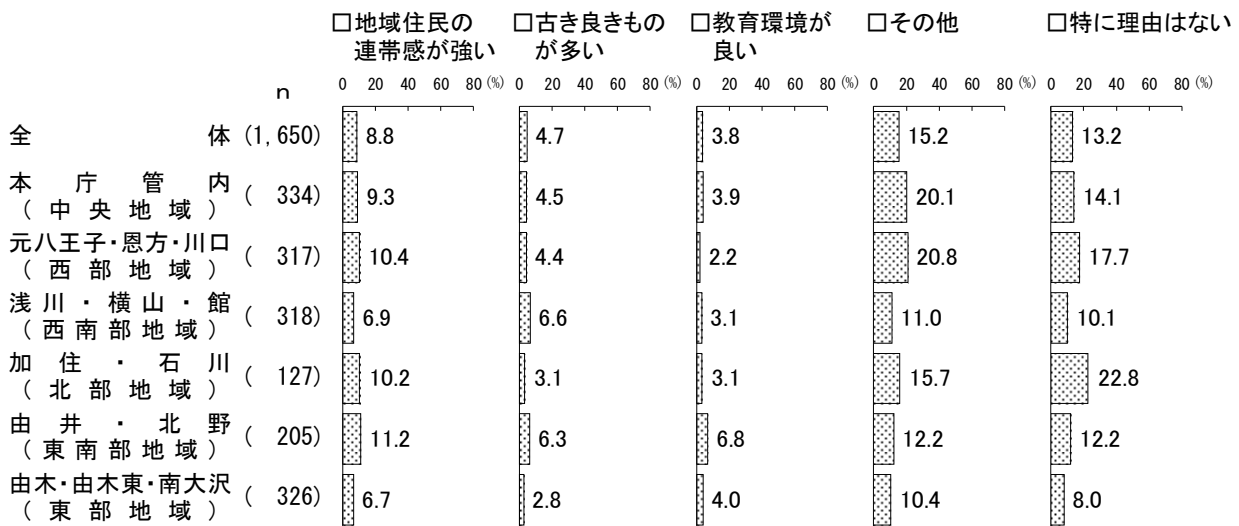
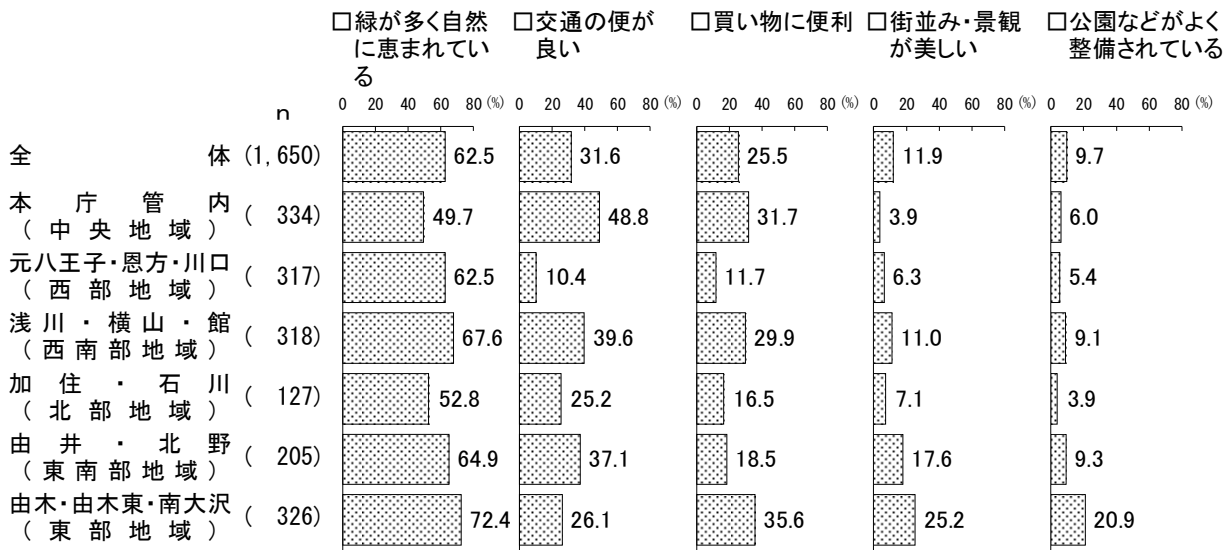
図 1-2-2 住みたい理由一性・年齢別



性別にみると、「緑が多く自然に恵まれている」は女性のほうが9.0ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「緑が多く自然に恵まれている」は男性20歳代を除いて半数以上を占めており、特に女性40歳代から60~64歳で7割以上と高くなっている。(図 1-2-2)

図1-2-3 住み続けたい理由—居住地域別



居住地域別にみると、本庁管内（中央地域）では「交通の便が良い」が5割弱（48.8%）と高くなっている。由木・由木東・南大沢（東部地域）では「緑が多く自然に恵まれている」が7割強（72.4%）、「買い物に便利」が3割台半ば（35.6%）と高くなっている。（図1-2-3）

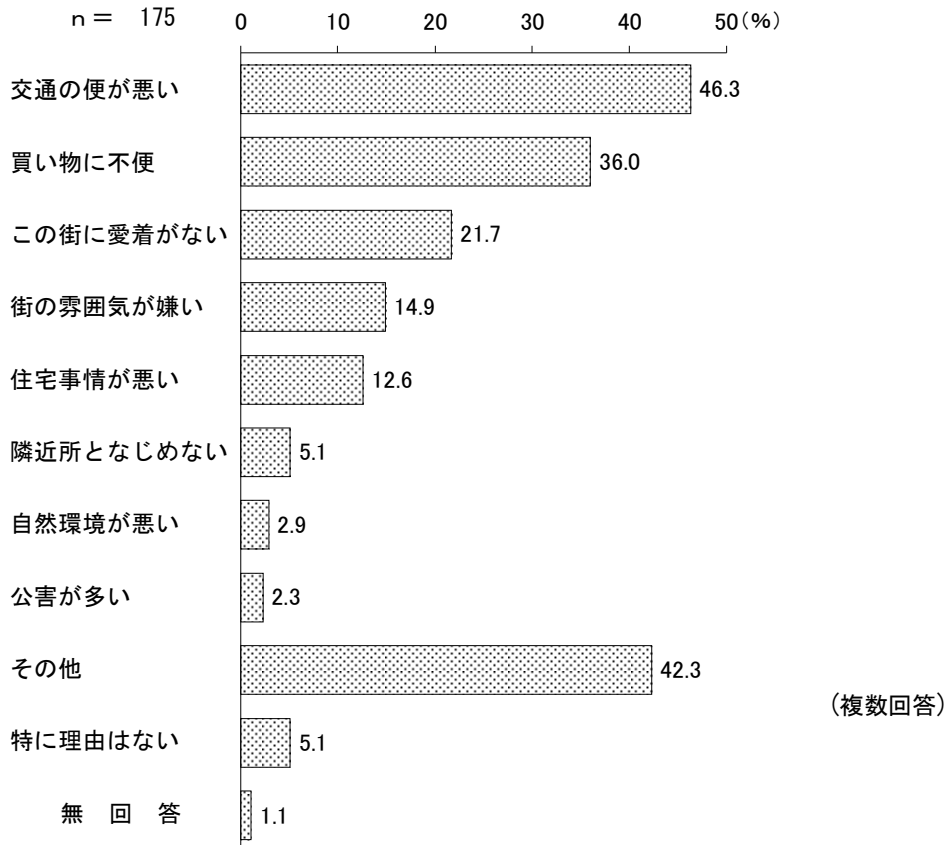
1-3 市外へ移りたい理由

◇「交通の便が悪い」が4割台半ば、「買い物に不便」が3割台半ば

(問1で「市外へ移りたい」とお答えの方に)

問1-2 市外へ移りたい主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

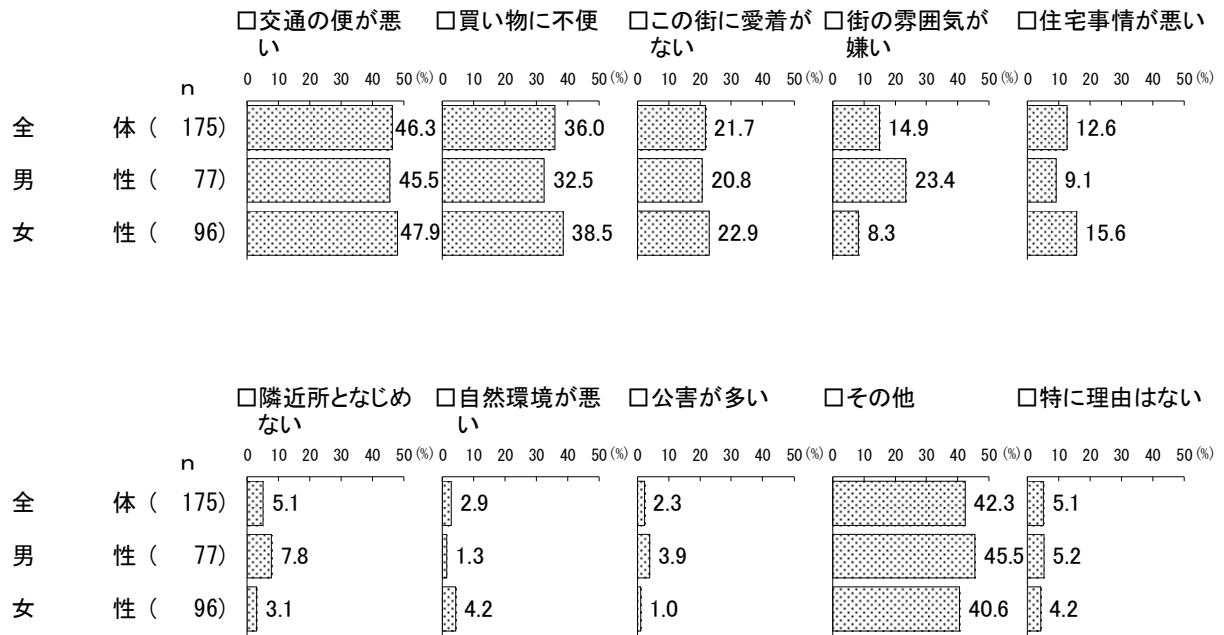
図1-3-1



八王子市への定住意向で「市外へ移りたい」と答えた人(175人)に、市外へ移りたい理由について聞いたところ、「交通の便が悪い」が4割台半ば(46.3%)と最も高く、ついで「買い物に不便」(36.0%)、「この街に愛着がない」(21.7%)、「街の雰囲気が嫌い」(14.9%)と続いている。

(図1-3-1)

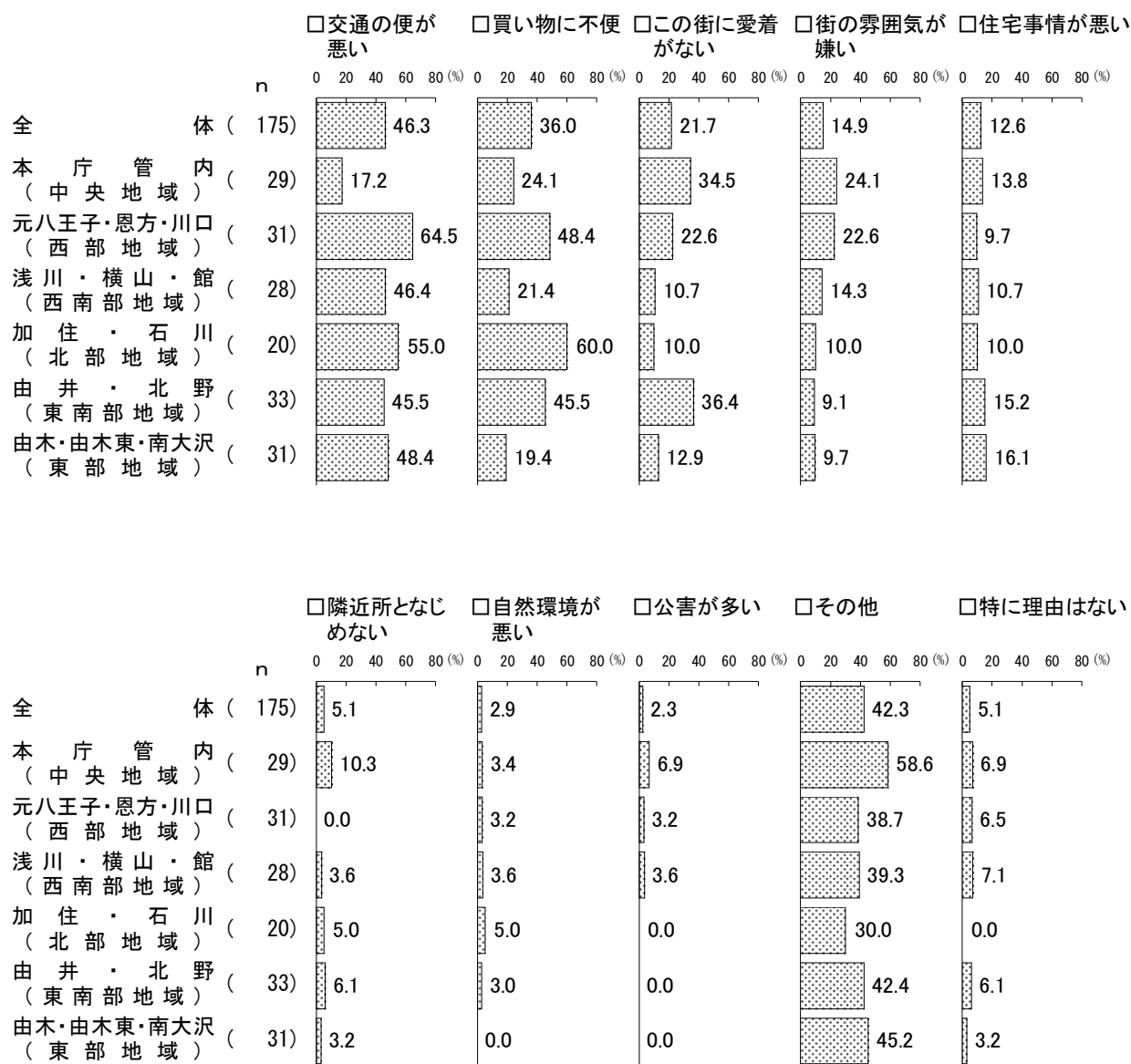
図 1-3-2 市外へ移りたい理由—性別



性別にみると、「街の雰囲気が嫌い」は男性のほうが15.1ポイント高く、逆に「住宅事情が悪い」は6.5ポイント、「買い物に不便」は6.0ポイント、それぞれ女性のほうが高くなっている。

(図 1-3-2)

図 1-3-3 市外へ移りたい理由—居住地域別



居住地域別にみると、元八王子・恩方・川口（西部地域）では「交通の便が悪い」が6割台半ば（64.5%）と高くなっている。本庁管内（中央地域）では「この街に愛着がない」が3割台半ば（34.5%）と比較的高くなっている。加住・石川（北部地域）では「買い物に不便」が6割（60.0%）と高くなっている。（図1-3-3）